



ID: 1472

科目名	道徳Ⅱ【26年度生用】			コード			
英語表記	moralityⅡ						
担当教員名	吉村 高男			年度	平成26年度		
基準年次	1年次	開講期	後期		単位数		
授業形態	講義	授業形式			履修形態		
授業概要							
若者の規範意識の低下が顕著になる中、本学は大学教育としての道徳教育を積極的に取り入れている。道徳Ⅰでは、萩が生んだ偉大な人物である吉田松陰に焦点化を図ったが、道徳Ⅱでは、様々な分野で活躍されている有識者の方々から率直な生き様を語ってもらうことで、品格ある人生哲学を学ぶ。							
到達目標							
本学の学生が混迷する現代社会に出て働く場合に、学生自らが、主体的にこのような社会の中で、お互いに協調心及び協働心を持ち、より良く社会の中で生きていくための術を身に付けることを目指す。							
授業計画							
第1回	磯野恭子(元山口放送取締役)						
第2回	吉村高男(山口福祉文化大学学部長)説						
第3回	市川太一(元修道大学学長)						
第4回	松田弘子(弁護士)						
第5回	野村誠一(元千葉県副知事)						
第6回	鈴木隆子(防府市教育委員長)						
第7回	牧義男(元三菱金属社長)						
第8回	赤星香魚(山口市男女共同ネットワーク会長)						
第9回	広田登志子(岩国市教育委員)						
第10回	佐古利南(岩国市教育委員長)						
第11回	相本艶子(山口県男女共同参画理事長)						
第12回	西村宏(岩国市教育委員)						
第13回	中塩秀樹(呉市立昭和北中学校長)						
第14回	川口尚子(山口放送ラジオプロデューサー)						
第15回	陽信孝(萩市教育委員会教育長)						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
授業態度、課題レポート等の評価を考慮して、総合的に判断する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				30	70		
授業外学習			テキスト、教材				
			毎時間、自作資料を配付する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
毎時間、適宜、紹介をする。			講師の皆さんの生き様に直接触れ、自らの生きるべき道を模索して下さい。				
キーワード							
道徳 規範意識 知徳一体 寛容 互恵							